

健康だより

健康課・医療対策課

☎53-2101

各地域の保健センター

萩原 ☎52-1230

小坂 ☎62-3111

下呂 ☎25-2680

金山 ☎32-4500

8020（ハチマルニイマル）運動実施中!!



5月31日に行われた高齢者の良い歯のコンクール表彰式

80歳になっても自分の歯を20本以上保とう!という「8020運動」を実施しています。

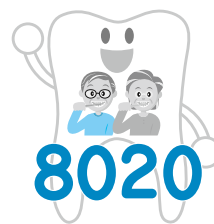
自分の歯が20本以上あれば、ほとんどの食べ物はいくく食べられます。喋ることも歌うことも楽しくできます。心と体の健康を保ち人生を豊かにします。歯の健康は体の健康に大きくつながっています。歯の定期健診や早期治療に心がけましょう。

下呂市口腔保健協議会では「高齢者のよい歯のコンクール」として80歳以上の方で自分の歯が20本以上ある方を表彰しています。市内歯科医院で検診（無料）を受けることで応募いただけます。受付期間は平成25年3月31日までです。どうぞご利用ください。

◆受けよう

歯周疾患検診

歯肉炎や歯周炎などの歯周疾患は歯周病とも呼ばれ、放置しておくと心筋梗塞、脳梗塞、動脈硬化を発症する危険を高めることがわかってきています。病気を早期に発見し治療するためや口臭や歯の汚れをチェックするために欠かせないのが定期健診です。半年から1年に1回は歯科医院で口の状態をチェックしてもらいましょう。



市では6月11日から12月21日まで、40・45・50・55・60・65・70歳の節目年齢（4月1日年齢）の方を対象に歯周疾患検診を実施しています。期間中は市内の歯科医院で500円の自己負担で受診していただけます。また今年度より下呂温泉病院の歯科口腔外科でも検診を受けられるようになりました。ご希望の方は、健康課までお問い合わせください。

下呂市立休日診療所

下呂市森801・10（下呂市民会館内）

☎24・1200

診療科目 内科、小児科（急病者に限りです）

診療日 日曜、祝日、年末年始

診療時間 午前9時～午後3時

※事前に電話をしてお越しください。（予約はできません）

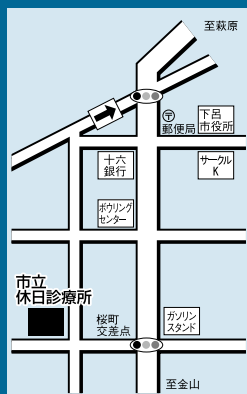
※受診の際は、必ず保険証やお薬手帳（ある場合）をお持ちください。

※急病者専用のため、平常継続して受けている治療は遠慮ください。

7・8月の担当医

8月		7月	
26日（日）	小林源博（ばやし整形外科）	1日（日）	大林秀成（萩原北病院）
19日（日）	村瀬寛紀（村瀬眼科クリニック）	8日（日）	田中隆平（田中内科クリニック）
12日（日）	二村 克（二村医院）	15日（日）	黒木尚之（黒木医院）
5日（日）	小池利幸（小池医院）	16日（月）	今井直人（花田医院）
29日（日）	細江昭比古（市立中原診療所）	22日（日）	中田宗彦（中田医院）

※都合により担当医が変わることもあります。
※7月8日の田中医師は中学生以下の診療を行います。事前に電話でご確認の上、下呂温泉病院、金山病院を受診ください。



※休日診療所の担当医は、地上デジタル放送ぎふチャン（8ch）のデータ放送でもご覧いただけます。

7月は「愛の血液助け合い 運動月間」です！

病気やけがの治療など、医療の現場に欠かすことのできない血液製剤。そのほとんどは国内の献血によって支えられています。科学や医療技術の進歩した今日でも、血液を人工的につくることはできません。

今日の医療において、病気やけがの治療のための輸血は不可欠となっていますが、輸血に用いられる血液製剤については、すべて国内の献血によって賄われています。しかし、血液製剤は長期間保存できるもので

はなく、血小板製剤などのように有効期限が数日程度と非常に短いものもあります。

医療の現場では、輸血を必要としている患者さんに対して、安定的に血液を供給する必要があります。そのためには、季節を問わず、常に多くの方々からの善意の献血が必要とされています。近年は特に若者の献血離れが目立ち、今後、ますます少子高齢社会が進んでいく中で、輸血を必要とする方々を支えていくために必要な血液が不足する恐れもあり、若年層はもちろん各年代層で支えあっていくことが今後ますます大

切になっていきます。

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です。血液製剤を安定的に確保するために、献血へのご協力をお願いします。

今後の献血の日程

- ◎7月17日(火) バロー萩原店
10時～12時、13時～16時
(献血キャンペーン実施)
- ◎8月20日(火) 市役所下呂庁舎
9時～11時30分、13時～16時30分
- ◎8月21日(火)
(株)ハウテック 9時～13時、
JA飛騨竹原支店 14時30分～16時

子宮頸がん検診 下呂温泉病院で実施可能です

下呂市が行う子宮頸がん検診は、集団検診と個別検診があります。個別検診については黒木医院のみ実施可(クーポン券対象者は久美愛病院も可)でしたが、7月から下呂温泉病院でも受診できるようになりました。

下呂市のがん検診申し込み調査票で子宮頸がん検診を希望された方が受診できます。受診を希望される方で、まだ申し込みをされていない方は、健康課(☎53・2101)までご連絡ください。

また、受診には事前に予約が必要となりますので、下呂温泉病院総合健診センター部受付(☎25・5556)へご連絡ください。

下呂市立金山病院は7月末、飛騨金山温泉の地に引っ越します。

引っ越しは、専門の引っ越し業者と病院職員が一体となって患者、物品の移送、収容、設置、調整を行います。使えなくなったもの、必要でありながら元々なかったものは購入しますが、CTやMRIなどの診療機器や机、椅子など使えるものはすべて新病院に移設、再利用します。

病院は24時間入院患者を中心に動いており一時も休むことができません。休むことのできない代表的な仕事は人工透析です。現在金山病院では10人の方々が5人ずつ隔日に透析を受けておられます。休みは一週間に一日だけなので透析の引っ越しは機械の整備も含めて一日で

完了しなければなりません。

入院患者の診療も一日も休めません。引っ越し期間中泊可能な患者は少なく、地域の医療を支えている中では、入院制限にも限りがあります。送り出しと受け入れの体制を整えて、一気に移さなければなりません。給食設備は移設することなく新病院ではオール電化で整いますので引っ越し後すぐに食事の提供は可能です。

血液検査やX線検査は緊急検査を除いて3日程度でできます。CTは7月末の一週間、MRIは7月7日から約一カ月、装置の移設、調整のために使えません。CTなどの検査ができない7月末の一週間は救急患者の受け入れが困難になります。

病院にとって今回の引っ越しで、最も

病院の引っ越し

大変で困難な作業はオーダーリングシステムの導入です。検査、処置、投薬の正確性と待ち時間の短縮を目指しての導入です。新しく造られる病院のほとんどでは電子カルテが導入されていますが、金山病院では建設費用が抑えられたためにやむを得ずオーダーリングのみを電子化しました。所見は従来のように紙カルテに記載するというもので、なれるまでには待ち時間の延長など相当な迷惑をおかけすることになると思います。

引っ越しは、病院の本来の仕事である入院業務を優先しますので外来診療はどうしても後回しになります。外来診療を行いながら引っ越しをするのは、人員、設備の配置などから不可能と考えています。そのため

7月末の数日間休診となりますので定期的受診、投薬はこの時期を避けて受診していただくようよろしくお願いいたします。救急患者についても、同期間中は他病院をご利用することになります。

引っ越しに伴う休診日については、広報などでお知らせします。

病院をご利用いただく皆さんには大変ご迷惑をおかけいたしますが、現在の病院は老朽化により冷暖房、水回りの維持、修理が困難となり、病院の維持ができなくなってきました。また、病院運営に必要な基準を満たすため、やむを得ず新築移転するという状況をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

下呂市立金山病院 院長 古田智彦